

す。嚥下が困難になります。

■ その他

- ・子宮の痛み：肢を曲げたり、左下に寝ると楽になります。

MODALITY

▶ 急な動き、少量の食事、暖かさなど

◀ 冷水浴、睡眠後、喫煙、触られること、わずかな動き、労働、階段の昇降など

RELATIONS

・ Antidoted by : Ipecacuanha

## Lycopodium clavatum ヒカゲノカズラ [二面性, 内弁慶, 右側]

Lycopodium clavatum L.

BACK GROUND

Lycopodium は、北半球の山岳の湿地や森に生育し、常緑で、その尖った短い葉が密生している茎の外見から、wolf's claw, club moss, lamb's tail, running pine, ground pine などと呼ばれています。この植物は、涼しく湿気が多いほどよく繁茂し、土壌が肥沃でなくても生育できます。そのために、あのような小さく効率のよい形をしています。



(K)

Lycopodium の語源は、その根茎の形からギリシア語で Lykos (wolf), podos (foot) に由来しています。種小名の clavatum は、ギリシア語の棍棒に由来し、この植物の茎の形から来ています。

和名は日陰の葛ですが、日当たりの悪い場所には生育していません。古くからアラビアでは、この植物を胃の疾患や腎臓結石の治療に用いていました。17世紀にはこの植物の胞子が痛風や泌尿器疾患に用いられ、現在では、胞子は外用として傷や湿疹の薬として用いられています。アメリカ先住民のブラックフット

族は、胞子の止血、癒傷、吸水作用などを利用して、鼻血には吸引薬として、ケガには外用として代々利用されてきました。日本でも「古事記」で、天照大御神が天の岩屋戸に隠れ世の中が光を失ったときに、天の岩扉の前で踊った天鈿女命（あまのうずめのみこと）が素肌の上に巻いていたのがこの Lycopodium だと言われている。その騒ぎに岩の隙間を開かれたという神話が残されており、現在でもこの植物は神事に使われている。

この植物は、分類上シダ植物と裸子植物の中間に位置しており、二面性をもっています。見た目は裸子植物のスギに似ていますが、実際はシダ植物です。いずれも針状の葉を着けますが、これは「小葉」と呼ばれるもので、小葉のある植物は、ほかにあまりありません。小葉はふつうの植物の「大葉」とはまったく起源が異なります。Lycopodium は、ふつうの植物と違い、何mも長く地上を這って、茎の左右から交互に、短い枝を上に向かって伸ばして行きます。レメディは、この植物を夏に収穫し、その枝の先端の胞子嚢穂から、胞子や黄色い花粉を振り出して集めてつくります。この胞子（石松子）は、lycopodiumoleic acid などの不揮発性油やフィトステロール、酸化アルミニウム、リン酸、硫黄、シリカなどを含んでおり、水分をはじき、炎に胞子を入れると一瞬の閃光が出ることから、昔は花火の材料に使用したり、池に入れて金魚や鯉を産卵させるための藻場の代用にしたり、あるいはまた、胞子を人工受粉の増量剤に利用したりしました。現在では、工業検査試験や薬用、鮎の飾りにも利用されています。

## MATERIAL

夏に穂を切り取って、胞子を集めたもの。この胞子には、上記の成分のほか、少量のアルカロイドである、リコボダイニン、クラバチン、クラバトキシニンなどが含まれています。これらのアルカロイドの分子構造は、モルヒネに似ています。リコボダイニンには、副交感神経興奮作用があることがわかっています。

## FIRST PROVING

ハーネマン (『Chronic Disease』初版)

## MIND

Lycopodium タイプには、劣等感からくる恥ずかしがり屋で内向的な面と、我が強く自己主張し、外向的に演じる面の二面性をもっています。その両面が出ている場合と、一面だけが表面化している場合があります。

自分に自信がなく、それを外見からは判断できません。自信のなさを隠すからです。基本的に臆病で恥ずかしがり屋で、見知らぬ人に対しての外面はいいのですが、極度の内弁慶です。犬では、大型犬よりは小型犬に比較的多いタイプです。身内には自信のなさを隠そうとして、威張ったり、独裁的で横暴な態度を示しますが、外へ出ると誰かに頼れる人を欲しがります。自己防御が強い二面性をもっています。非常に心配症で、とくに大勢の前に出ること、人前で失敗することに恐怖を感じます。そのため失敗を怖れて、新しいことに挑戦するのを嫌います。また暗闇や夜、幽霊、大きな動物も恐がります。

このタイプは、胃が弱いので、心配症は胃に影響し、ガスや消化不良になります。タマネギ、豆類、キャベツ、腸内のガスが溜まりやすい食品はよくありません。甘い物が大好物で、暖かい食べ物と飲物が好きです。牡蠣や冷たい飲食物は嫌います。

Lycopodium タイプの子供は、性質は上記の大人と同じです。背が高く、やせていることが多いです。体に比べて頭が大きいようです。家の中では、怒りっぽく、自分がボスのようにふるまい、甘やかしている両親に対しては、横暴な態度を示すことがあります。眠っているときに、半分目が開いていることがあります。赤ちゃんは、額にしわを寄せてしかめ面のような顔をすることがあります。頭を冷やして、体を温めるのが好きです。早朝と午後4～8時くらいの時間帯に、調子が悪くなる傾向があります。朝起床時は、気分が悪いことがあります。

病気になると、症状が体の右側から始まる傾向があります。小さい頃は、ウルトラマンなどのアクション

ものが好きですが、成長するに従って、外で活発に遊ぶよりも、家の中で過ごすテレビゲームや読書などに夢中になる傾向があります。

## AFFINITY

Lycopodium は、栄養 (消化器系、門脈系、皮膚など)、泌尿器系、脳、肺などに親和性をもっています。

## CLINICAL APPLICATIONS

臨床では、このレメディは、消化器系、咽頭炎、予期不安症などに使われるほか、体質が合えば非常に深く作用するので、幅広くさまざまな疾患に適用されます。キーワードは、右側、そして右から左側です。

### ■消化器系

- ・消化不良：放屁、胸やけなど。予期不安や夜食、タマネギ、キャベツ、豆類、ガスを生じる食べ物の摂取後に起こります。通常、食欲は旺盛ですが、少し食べただけでも満足してしまうことがあります。おくびが喉の奥まで出かかります。
- ・胃痛：お腹をさすると楽になります。
- ・周期的に起こる嘔吐：他のレメディと併用します。
- ・鼓腸：おくびや放屁で楽になります。食事を少量でも食べると悪化します。お腹がごろごろ鳴ります。
- ・十二指腸潰瘍
- ・過食症：夜中にお腹が空いて起きることがあります。食後に顔が赤らむことがあります。
- ・食欲不振：とくに若齢の場合
- ・舌炎：舌に水疱ができることがあります。舌の先端部と裏側に潰瘍があることもあります。
- ・便秘：若齢
- ・軟便：排便のはじめは堅く便秘ぎみですが、だんだん緩くなり、最後は下痢状になることもあります。
- ・胆管結石、胆嚢炎：食後や深呼吸で痛みます。
- ・急性/慢性肝炎、ニクズク肝
- ・痔核：痛みが強く、熱めの入浴で楽になります。

### ■泌尿生殖器系

- ・尿路結石、腎結石 (とくに右腎)
- ・前立腺炎、前立腺肥大
- ・右卵巣腫瘍、卵巣嚢胞
- ・陰嚢腫
- ・勃起不全：性欲はありますが、配偶者とは勃起しません。
- ・不感症：女性に多い傾向
- ・遺尿症
- ・夜間の多尿
- ・血尿
- ・尿毒症、腎不全：一般治療と併用します。



## ■皮膚

- ・慢性じん麻疹
- ・湿疹：わずかに触れても出血してしまうことがあります。強いかゆみがあり、冷やすと楽になります。
- ・脂漏性皮膚炎
- ・踵の皮膚のひび割れ、踵の皮膚の角化亢進症：Lycopodium タイプでは、片方の手足がもう一方より冷たいことがあります。
- ・眼角のひび割れ
- ・皮疹：頭皮や耳の後ろ
- ・髪の毛の脱毛：年齢よりも早く白髪が出る場合があります。
- ・悪臭のある発汗：ネバネバしています。とくに足の裏や脇の下

## ■呼吸器系

- ・喘息：慢性的な乾いたくすぐったい感じのする咳が出ます。
- ・肺炎：右側の肺
- ・咽頭炎：右側から炎症が始まり、左側に移っていきます。
- ・鼻翼の動き：脳や腹部、肺の疾患のときに鼻翼がヒクヒク動きます。

## ■神経系

- ・頭痛：右側がとくに痛くなります。午後4～8時頃に悪化します。寒気を感じる例もあります。
- ・寒気：午後3～4時頃
- ・めまい：何か回転する物を見ているとめまいがします。朝起きがけにめまいがします。
- ・リウマチ、坐骨神経痛：とくに右の坐骨神経痛で、痛みで患部を下にできません。
- ・顔面のチック

## ■感覚器系

- ・中耳炎：右側

- ・難聴：耳鳴りを伴います。聞こえる音がすべて、エコーがかかったようになることがあります。
- ・片側視野欠損
- ・外眼角部のポリープ
- ・内眼角部の眼瞼麦粒腫

## ■精神

- ・優柔不断
- ・自信の欠如、自尊心の欠如
- ・予期不安：とくに人前で話すことを恐れます。
- ・うつ病
- ・難読症

## ■その他

- ・高脂血症：総コレステロール値とトリグリセリド値の上昇が見られます。しばしばPhosphorusと併用します。
- ・アテローム性動脈硬化症

## MODALITY

- ▶ 緩い服、活動すること、冷たい空気、暖かい食べ物と飲物、夜など
- ◀ きつい服を着ること、過食や絶食、右側、午前4～8時と午後4～8時

高めのポテンシー 200c は、やや aggravation が強いかもしれませんが、慢性例には、他の抗疥癬レメディから始めたほうが良い例もあります（たとえば、Sulphur → Calarea carbonica → Lycopodium など）。

## RELATIONS

- ・ Antidotes : Camphora, Pulsatilla, Causticum
- ・ Complementary : Calcarea carbonica, Sulphur, Iodium, Graphites, Lachesis, Chelidonium, Hydrasis

## Lycopus virginicus バグルウィード [激しい動悸]

Lycopus virginicus L.

## BACK GROUND

Lycopus virginicus は、北米原産のシソ科シロネ属の多年草、バグルウィードです。一般的には、Bugleweed, Water Bugle, Sweet Bugle, Virginian Water Horehound, Gipsyweed などと呼ばれていま

す。

この植物は、草丈 30～60cm に生長し、茎は直立し、細かい毛が生えています。葉は卵円形で、質は薄く、互生しています。葉には、わずかな芳香があります。山地の湿った土地に好んで生育しています。